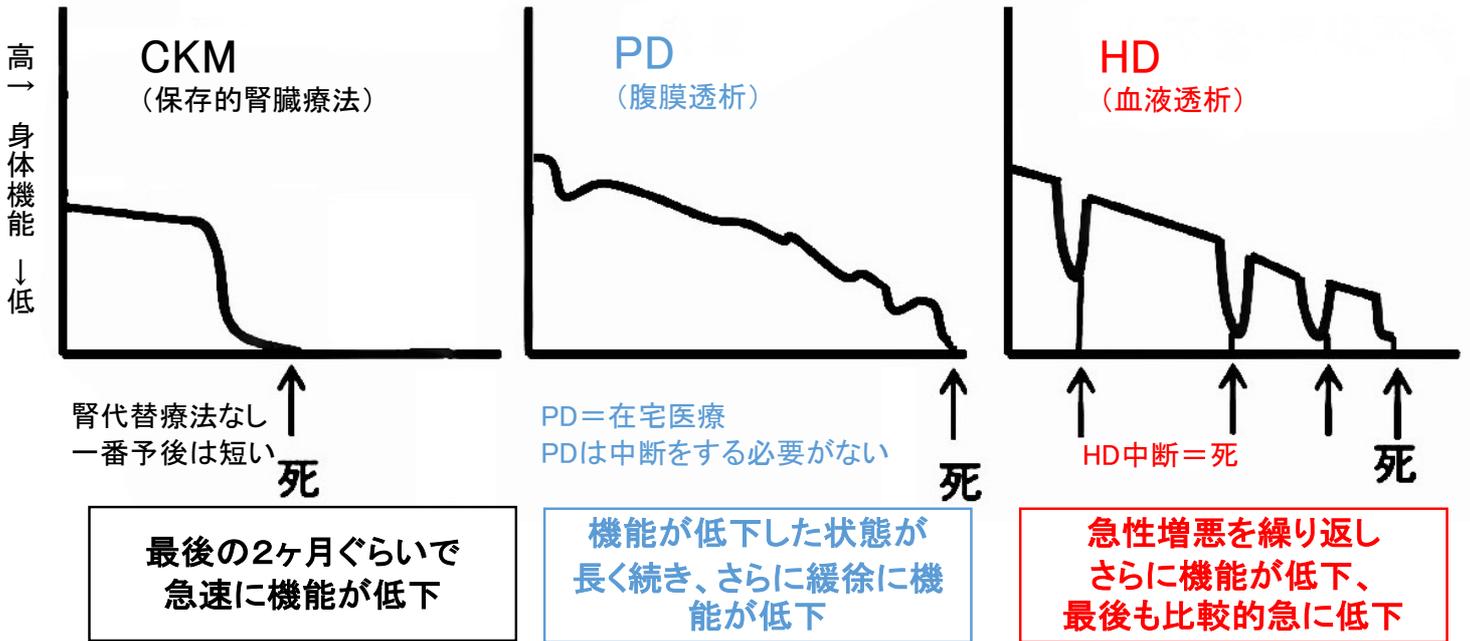


# 【終末期(CKM・PD・HD)の違い】

Lynn J, et al. Living well at the end of life: Adapting health care to serious chronic illness in old age. Rand Health; 2003 改変

時間経過 →

病みの軌跡(腎代替療法Ver.)



日本は世界トップクラスの長寿国であり、また少産多死社会でもある。こうした社会において終末期医療の問題は、QOD(Quality of Death or Dying:死の質)を高めることはもちろんのこと、医療経済的側面も含め重要な課題であろう。可能であれば最期は自宅で過ごしたいと回答する人が半数以上を占めている。しかし実際に自宅で最期を過ごす人は1割程度とされ、理想と現実には大きな乖離がある。人生の最終段階を自分らしく過ごすための一つの方法として近年、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)が注目を浴びている。ACPとは、一言で言えば「もしもの時にそなえた話し合い」の事である。人生の最終段階の質を高めるためには、何よりも本人の希望が尊重されることが重要となる。しかし国が実施した調査(2014)では、死が近い場合の事に関して“全く話し合ったことがない”人の割合は55.9%とされている。死について考えることから逃避するのではなく、本人の希望が尊重されるよう事前に本人と家族で意思共有をしておかなければならない。

(Yumi KONO. Advance care planning and death perspectives. 日心第82回大会(2018))

## 【九州沖縄地区の末期腎不全患者様の現状】

|     | 慢性透析患者  | 血液透析    | 腹膜透析   | 腹膜透析普及率 |
|-----|---------|---------|--------|---------|
| 全国  | 349,700 | 339,199 | 10,501 | 3.0%    |
| 福岡  | 15,713  | 14,972  | 741    | 4.72%   |
| 佐賀  | 2,677   | 2,624   | 53     | 1.98%   |
| 長崎  | 4,092   | 3,974   | 118    | 2.88%   |
| 熊本  | 6,596   | 6,462   | 134    | 2.03%   |
| 大分  | 4,080   | 3,953   | 127    | 3.11%   |
| 宮崎  | 3,996   | 3,937   | 59     | 1.48%   |
| 鹿児島 | 5,617   | 5,422   | 195    | 3.47%   |
| 沖縄  | 4,935   | 4,759   | 176    | 3.57%   |

2021年12月末 日本透析医学会統計(単位:人)

## 【血液透析と腹膜透析の違い】

|          | 血液透析 (HD)                                  | 腹膜透析 (PD)                        |
|----------|--|----------------------------------|
| 残腎機能の維持  | 導入後は急激に尿量減少                                | 比較的保たれる                          |
| 心血管系への負担 | 大きい  | 小さい                              |
| 水分・塩分制限  | 厳しい  | 比較的緩い                            |
| 食事制限     | 厳しい  | K制限は緩い                           |
| アクセス     | 内シャント、グラフトシャント、動脈表在化&表在静脈、(長期留置カテーテル)      | PDカテーテル                          |
| 感染       | 穿刺部周囲(カテーテル出口部/トンネル感染)                     | PDカテーテル出口部/トンネル感染、腹膜炎            |
| 透析する場所   | 病院や透析クリニック                                 | どこでも施行可                          |
| 透析回数     | 週3回  | 1日1回~4回程度(週1程度Skip可)             |
| 透析実施者    | 医師/看護師/臨床工学技士                              | 患者自身/家族/医師/看護師/(臨床工学技士)          |
| 外来通院回数   | 週3回  | 月0回~2回                           |
| 終末期...   | 通院困難となり、入院透析になることが多い。透析困難になっても透析中止の判断が難しい。 | 通院せず訪問診療で在宅で継続治療可能。透析を中止する必要がない。 |